

平成24年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	治山事業に必要な経費		担当部局	内閣府 沖縄振興局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和26年度		担当課室	参事官(振興第二担当)		参事官 青木 勉	
会計区分	一般会計		施策名	39 沖縄における社会資本等の整備			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法第105条第1項 森林法第41条、第46条 地すべり等防止法第7条、第29条		関係する計画、通知等	沖縄振興計画 森林・林業基本計画 全国森林計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	集中豪雨、地震、台風等により発生した集落周辺の荒廃地、水源地域において、森林や溪流を安定させ、国土の保全、水源のかん養等森林の公益的機能を高めることにより早期に地域の安全・安心の確保、環境の保全を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	集中豪雨、地震、台風等による山地災害を復旧・防止するため、山腹斜面や溪流を安定させる施設の整備、土砂崩壊防止機能の高い樹木の植栽等を実施する。また、水源地域等において、水源かん養機能を高めるため、機能の低下した保安林の整備等を実施。 (補助率9/10等)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状況	当初予算	730	557	493	441	
		補正予算	0	50	0	0	
		繰越し等	-37	-65	122	117	
		計	693	542	615	558	441
	執行額	683	489	470			
執行率(%)	98.6	90.2	76.4				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	周辺の森林の山地災害防止機能等が確保される集落の数			集落数	52,300 (52,600)	52,990 (53,400)	P (54,300)
	※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値 ※成果目標は事業実施省庁で全国値を設定 ※成果実績は事業実施省庁で全国値を集計		達成度	%	93.4	94.6	P
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	治山対策を実施した箇所数			箇所	50	42 (42)	42 (42)
単位当たりコスト	11(百万円/箇所)		算出根拠	470百万円(23年度予算執行額)/42箇所(23年度に治山対策を実施した箇所数) =11百万円/箇所			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	山地治山総合対策事業費補助	425	424				
	水源地域等保安林整備事業費補助	16	17				
	計	441	441				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果目標等は事業実施省庁で全国値を作成。達成度等は事業実施省庁で全国値を集計中。
	P	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>治山事業は国民の生命財産を守る重要な事業であり、沖縄県において地域計画(沖縄北部地域森林計画、沖縄中南部地域森林計画、宮古八重山地域森林計画)を策定し事業を実施している。 事業実施にあたっては、事業の重点化やコスト削減の取組み等が行われる等、適切な事業実施が行われている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き事業実施省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握し、今後の事業計画に適切に反映すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成22年度行政事業レビュー公開プロセス結果 抜本的改善(優先度に応じた事業の重点化、コストのあり方等)</p> <p>平成23年度農林水産省行政事業レビュー点検結果 抜本的改善(コストの削減、支出先の選定による競争性・透明性の一層の向上、繰越の防止)</p> <p>平成23年度内閣府行政事業レビュー点検結果 現状通り(事業実施省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握し、今後の事業計画を検討)</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0109	平成23年行政事業レビュー	0109

※平成23年度実績を記入

内閣府
470百万円

予算移し替



農林水産省(林野庁)
470百万円

沖縄県に対する補助金の交付、指導監督



A. 沖縄県
470百万円

山地災害の防止や復旧、森林の造成

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A. 沖縄県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	治山工事の実施	470			
計		470	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 沖縄県

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄県	治山工事の実施	470	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					